

●行政情報●

令和5でん粉年度の「でん粉の需給見通し」

農林水産省は令和5年9月27日、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）に基づいて、令和5でん粉年度の「でん粉の需給見通し」を公表した。

「見通し」は、製造事業者、実需者において、今後の経営及び国内産いもでん粉調達計画の参考となるよう、年2回作成している。

見通しでは、令和5でん粉年度の需要量は近年の需要動向等を総合的に勘案して2,482千トン（対前年度比+0.9%）、うち糖化製品は1,691千トン（+1.4%）、化工でん粉が251千トン（+0.8%）、その他（製紙用、ビール用、片栗粉用など）は540千トン（-0.6%）と見込んでいる。

国内産いもでん粉に係る需給見通しは、下表のとおりとなっている。

R5でん粉年度における国内産いもでん粉需給の見通し

（単位：千トン）

			R5年10月～R6年3月（見込み）			R6年4月～9月（見通し）			R5でん粉年度計		
			かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	上期計	かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	下期計	かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	計
需 要	交付金 対象 用途	糖化製品	3	12	15	3	11	14	7	22	29
		化工でん粉	1	16	17	0	11	11	2	27	29
		その他	3	23	26	3	23	26	6	46	52
		小計	8	51	58	6	44	51	14	95	109
	その他の用途		0	30	30	0	31	31	0	60	60
	計		8	80	88	6	75	81	14	155	169
供 給	前期からの繰越		2	6	8	10	84	94	2	6	8
	生産量		15	158	173	0	0	0	15	158	173
	計		17	164	182	10	84	94	17	164	182
次期への繰越			10	84	94	3	9	12	3	9	12

（注）1. ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2. 交付金対象用途のその他は、ばれいしょでん粉については、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用餌料など、かんしょでん粉については、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。交付金対象用途外のその他の用途は、片栗粉などである。

（参考）でん粉の需給見通し

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/kansho/denpun.html>